

令和3年度 きなりこどもえん自己評価

きなりこどもえん 園長 建部真貴子
 学校関係者評価委員議長 吉澤 俊道

評価分類	評価内容	自己評価		学校関係者評価委員会	
		園としての反省と改善案	評価	学校関係者評価委員会の意見	評価
社会人としてのマナー	教職員として意識し、職員同士がチームであることを意識し、行動できているか。	ほぼ全員の職員が社会人としてのマナーと教職員としての自覚を持ち行動している。今後も教職員同士の連携と協調性をさらに高めていきたい。	A	職員一人ひとりが明るく挨拶することができている。とても印象がよく感じられる。	A
保護者への対応	個人情報を適正に取り扱いし、保護者に対して区別や差別をすることなく対応できているか。	教職員は個人情報遵守に取り組んでいる。保護者への意見は謙虚に受け止め話を聞くようにしている。挨拶や声掛け等を大切に信頼関係を保つようにしている。	A	個人情報の取り扱いを適正にしている。どの保護者に対しても公平に対応をしている。	A
地域社会	地域の行事など興味関心を持って参加することができるか。	新型コロナウイルス禍ではあったが地域の小学校との交流が持てた。消防署とは消火訓練などの交流を通じて連携を組んでいる。	B	地域との交流も積極的にしている。地域の住民のご意見も真摯に受けて止めていて誠実に対応しているのが感じられる。	B
研修・研鑽	研修等、向上心を持って参加することができるか。	研修で外へ行く機会が少なかったが今年度はZoomでの研修が充実していた。社会的に問題になった事など研修を充実させた。今後も個々の意識を高め、より良い園にしていきたい。	B	園外研修だけでなく、園内研修を多く実施されているようである。問題点を職員同士で挙げ、園全体の意識を更に高めていけるとよい。	A
専門職	園の教育方針、理念を理解し、子ども達に合った保育に努めることができているか。	事故防止に努めながら、乳幼児の発達や特性を理解し、日常生活や遊びの中で幼児教育や保育の質の向上につなげている。さらに継続していきたい。	B	幼児教育や保育内容がより充実したものとなるようより努めてもらいたい。	A
	総合	新型コロナウイルスの発生により、様々な感染対策を行いながら少しずつ以前の生活を取り戻している。今年度、初めて卒園遠足を実現できた。	B	今年もコロナ禍の一年だったが、市などの指示の下、新型コロナウイルスの感染拡大防止に一生懸命対応している姿が見られ、保護者からも高い評価と信頼関係を築けている。	B